

1 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表

令和8年5月28日現在
発表官署 横浜地方気象台

横浜市南部	府県予報区	神奈川県	
	一次細分区域	東部	
	市町村等をまとめた地域	横浜・川崎	
特別警報	レベル5大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね30個以上とまって出現し、さらに激しい雨が降り続くことが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上とまって出現し、さらに激しい雨が降り続くことが予想される場合
	レベル5土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-1の基準値以上となる1km格子がおおむね10個以上とまって出現し、さらに激しい雨が降り続くことが予想される場合
	レベル5高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位	別紙4のレベル5高潮特別警報の基準値に到達することが予想される場合
	暴風	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くことが予想される場合	
	暴風雪	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くことが予想される場合	
	大雪	府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くことが予想される場合	
危険警報	レベル4大雨	表面雨量指数基準	別紙1-3の対象格子において別紙1-1のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-4の対象河川の格子において別紙1-2のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル4土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合(おおむね2時間先までに基準値に到達することが予想される場合に発表)
	レベル4高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合(基準値に到達することが予想される場合に、おおむね6時間前までに発表)
警報	レベル3大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル3土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-2のレベル3土砂災害警報の基準値に到達することが予想される場合(おおむね3~6時間先に基準値に到達することが予想される場合に発表)
		水位(高潮予報区間に限る)又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合(基準値に到達することが予想される場合に、おおむね12時間前までに発表)
	暴風	平均風速	陸上 25m/s 海上 25m/s
	暴風雪	平均風速	陸上 25m/s 雪を伴う 海上 25m/s 雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm
注意報	レベル2大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準 [*]	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル2土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-3のレベル2土砂災害注意報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル2高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位	別紙4のレベル4高潮危険警報の基準値に到達することが予想される場合(基準値に到達することが予想される場合に、おおむね18時間前までに発表)
	強風	平均風速	陸上 12m/s 海上 12m/s
	風雪	平均風速	陸上 12m/s 雪を伴う 海上 12m/s 雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm
	波浪	有義波高	1.5m
	雷	降雷等により被害が予想される場合	
	融雪		
	濃霧	視程	陸上 100m 海上 500m
	乾燥	最小湿度35%実効湿度55%	
	なだれ		
	低温	夏期:最低気温16℃以下が数日継続 冬期:最低気温-5℃以下	
	霜	最低気温4℃以下 晩霜期	
	霜氷・凍雪	著しい霜氷(雪)が予想される場合	
レベル5冠雪特別警報・レベル4冠雪危険警報・レベル3冠雪警報・レベル2冠雪注意報の発表対象となる河川予報区のうち、横浜市南部に隣接する河川予報区名及び基準観測所名		別紙3	

^{*} 表面雨量指数と流域雨量指数の組み合わせによる基準値を表しています。

- ・ 表中「別紙」については、https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ki_jun/kanagawa.html を参照すること。
- ・ 神奈川県の「気象防災速報(記録的短時間大雨)」は、1時間雨量が100mm以上の降水が観測又は解析された場合に発表する。
- ・ 風雪、強風、波浪、高潮、大雪の各注意報では、基準における「…以上」の「以上」を省略した。また、乾燥、濃霧、霜の各注意報では、基準における「…以下」の「以下」を省略した。
- ・ 上記以外の注意報では、基準の標記が多岐にわたるため、省略は行っていない。
- ・ 表面雨量指数は、短時間強雨による浸水害リスクの高まりを示す指標で、降った雨が地表面にたまっている量を示す指数。解析雨量、降水短時間予報等をもとに、1km四方の領域ごとに計算する。
- ・ 土壌雨量指数は、降雨による土砂災害発生の危険性を示す指標で、土壌中に貯まっている雨水の量を示す指数。解析雨量、降水短時間予報をもとに、1km四方の領域ごとに算出する。

- ・ 流域雨量指数は、降雨による洪水災害発生の危険性を示す指標で、対象となる地域・時刻に存在する流域の雨水の量を示す指数。解析雨量、降水短時間予報をもとに、1 km 四方の領域ごとに算出する。
- ・ 複合基準は、(表面雨量指数、流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表す。
- ・ 「融雪注意報」及び「なだれ注意報」に関しては、現象による災害がきわめて稀であり、災害との関係が不明確であることから具体的な基準は定めていない。

2 気象等に関する特別警報の指標

現象の種類	特別警報の指標
氾濫	水位が「河川の氾濫の起こるおそれが著しく大きくなる値」以上となり、かつその状況が継続すると予想される状況、若しくは氾濫が発生している状況
大雨	以下の①又は②を満たすと予想される状況において、激しい雨がさらに降り続くと予想される場合 ① 流域雨量指数の指標 流域雨量指数として定める基準値以上となる 1 km 格子が概ね 20 個以上まとまって出現。 ② 表面雨量指数の指標 表面雨量指数として定める基準値以上となる 1 km 格子が概ね 30 個以上まとまって出現。
土砂災害	60 分雨量及び土壌雨量指数の組み合わせにおいて、「災害がすでに発生している可能性が極めて高い値」以上となる 1 km 四方の格子が概ね 10 個以上まとまって存在し、激しい雨がさらに降り続くと予想される場合
高潮	水位又は潮位が「高潮による浸水害の起こるおそれが著しく大きくなる値」以上となり、かつその状況が継続すると予想される状況、若しくは高潮による浸水害が発生している状況
暴風	伊勢湾台風級（指標：中心気圧 930hpa 以下、風速 50m/s 以上）の台風や同程度の温帯低気圧が来襲する場合
波浪	・ 台風については指標（発表条件）の中心気圧又は最大風速を保ったまま、中心が接近・通過すると予想される地域における暴風・高潮・波浪の警報を、特別警報として発表 ・ 温帯低気圧については、指標（発表条件）の最大風速と同程度の風速が予想される地域における、暴風(雪)・高潮・波浪の警報を、特別警報として発表
暴風雪	
大雪	府県程度の広がりをもって 50 年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合

※ 横浜の 50 年に一度の積雪深値：31cm（ただし、積雪深ゼロの年もあり、50 年に一度の値の信頼性が低いいため、あくまで参考値として示されているもの）

3 地方海上警報の種類（津波に関するものを除く。）

船舶に対して行うもので、それぞれの海域において各警報の発表基準に達しているか、又は 24 時間以内に達すると予想されるときに発表する。

種 類	説 明
海上風警報	風力階級 7 に相当
海上濃霧警報	海上の視程がおおむね 500m 以下の場合
海上強風警報	風力階級 8 又は 9 に相当
海上暴風警報	風力階級表の風力 10 以上に相当
海上台風警報	台風により風力階級 12 に相当
海上警報解除	発表基準を下回った場合
海上警報なし	警報の発表基準に達していないか、又は 24 時間以内に達すると予想されない場合

※海上警報は、上記の状況が予想される場合に発表する。

風力階級は、「気象庁風力階級表」（ビューフォート風力階級）による。

4 参考ウェブサイト

- 気象警報・注意報（気象庁ウェブサイト）
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/warning.html>
- 海上警報・予報（気象庁ウェブサイト）
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kurashi/umiyoho.html>